

さかした 茂樹 坂下しげき県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

老朽化の出先機関 合同庁舎に集約を

財政の卓越した見識で、県議会の論客として頭角を現している坂下茂樹県議（市川市選出、2期）は2月県議会で一般質問を行いました。壇上で坂下県議は、県の財政問題を皮切りに市庁舎、町村役場での旅券発給、危険な通学路の改修など

過去に建設された公共施設等が老朽化し、これから大量に更新時期を迎えることになる。一方で、これに対応する財政は、非常に厳しい状況にある。

財政的な負担を軽減しつつ、必要な施設を維持していく方法として、個々に分かれている施設を統合し、施設の総量を減らし、一つの建物として合理的に建設。管理していくやり方がある。

更に、一つの建物に行政機関が集約された方が県民の利便性が格段に向上升す。

そして、現在、市川市では、国・県・市の機関が市内の利便性が格段に向上升す。

そこで、国・県・市が共に、税務署、法務局、年金事務所、裁判所、水道事務所などの機関を統合する

保健医療圏は県内で9つある2次保健医療圏の中でも、最も人口が多く、今後高齢化が進むことに伴い、救急搬送がさらに増えるものと想っています。

坂下しげき PROFILE

■経歴■

- 昭和49年11月 市川市生まれ
- 昭和62年3月 市立曾谷小学校卒業
- 平成2年3月 市立第一中学校卒業
- 平成5年3月 船橋法典高校卒業
- 平成9年3月 日本文化大学卒業
- 平成15年4月 市川市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成23年4月 県議会議員初当選

■現職■

・県議会 文教常任委員会副委員長

2月県議会一般質問・予算委員会



登壇し、一般質問を行う坂下茂樹県議

市川市でモデル事業提案

について県執行部に質しました。また、点在している老朽化した公共施設を取り上げ、県民の利便性向上のために合同庁舎への統合を提言しました。予算委員会と合わせて、坂下県議の質疑と県担当者の答弁を特集します。

との合築や共同利用など、公共施設の有効利用を図ることを進めることとしています。

県においても、本年度策定した「公共施設等総合管理計画」に国及び市町村との連携を位置付けているところであり、今後、同計画を進める中で、必要に応じて整備手法の一つとして検討してまいります。

坂下委員(予算委員会) 出先機関の集約化、合同庁舎化について、国や市と

協議できないのか。資産経営課長県では、公共施設の老朽化対策や、管理計画において国及びそれに伴う財政負担の軽減等を推進するため、本年度策定した「公共施設等総合管理計画」において国及び市町村との連携を位置付けているところです。

今後、個別の施設計画を策定してまいりますが、そうした検討の中で、必要に応じて国や関係市町村と協議を行つてまいります。

救命救急センター整備 速やかな善処を要望

坂下委員(予算委員会)

私は、平成27年6月議会において、市川市に救命救急センターを整備すべきと質問したが、答弁で、東葛南部保健医療圏における救急医療体制のあり方を検討するとの事だった。現在の状況はどうか。

医療整備課長 東葛南部保健医療圏は県内で9つある2次保健医療圏の中でも、最も人口が多く、今後高齢化が進むことに伴い、救急搬送がさらに増えるものと想っています。

果となっています。

この調査結果を踏まえ、引き続き関係者の皆様方のご意見をうかがいながら救急医療体制のあり方について検討してまいります。

●県政や地元市川市のご相談、ご要望をお寄せください

坂下しげき 県議事務所 〒272-0022 市川市鬼越2-5-8 旧金子和夫事務所
TEL.047-318-0055 FAX.047-318-0500

坂下しげき県議会リポート

副知事 横断幕などの路
上広告物については、交通
の安全や良好な道路環境
を確保するため、原則とし
て横断歩道橋には設置して
はならないことになってい
ます。

市川市の国分川調節池



市川市の国分

市川市の国分川調節池 昨年夏はカーブが異常発生した

近年、国分川調節池では、

施していただいているが、

副知事 高谷川について

に問い合わせて、一括り査定の扱い

「このまま語り、興味
を守ってほしい。」

ガマ異常繁殖、住民被害

市の告知横断幕 歩道橋に掲示可能

私は、登壇するたびに「貫して申し上げていることがあります」と、千葉県の行政運営は、国民の税負担、すなわち県民の汗によって成り立っているということをあります。したがいまして、

行政も、議会も県民の方が何を望んでいるのかということを常に追求し、対応していくなければならないということであります。

そのためには、あらゆる手段を講じて財源を確保し、事業の

選択に当たっては県民一二一ズ
的確に吸い上げ、将来にも責め
ばなりません。

そして、最少の経費で最大
効果を上げる努力を忘れては
りません。

市川市上郷ルートの騒音
騒音
騒音
騒音

県では、河原地区において、
取付道路の用地 取得を進
めており、進捗率は、面積
柘架設工事を実施している
ところです。
また、取付けとなる高谷

携し、地元関係者の協力を得ながら、事業の推進に努めてまいります。

県からも、このよつな
とを含め、県民の声を国
確実に届けていただきたい
懸念。

坂下県議の主張

県民ニーズ把握し財政運営

行徳橋、妙典橋着々と工事進行

坂下議員 羽田空港・着陸機の南風悪天候時における市川市上空飛行ルートの騒音問題についてうかがう。市内各所から騒音被害が寄せられ、実証データでも騒音の裏付けがされたことから、平成26年12月議会に総合企画部長 崑では国に対して、関係市町と連携しながら首都圏全体での騒音分担による抜本的対策において、騒音軽減対策について質問を行ったが、その後の状況について、騒音が軽減されているのか。

風悪天候時には安至上の理由から現在のルートを取らざるを得ないとしていますが、住民の騒音負担軽減を図るため、今後も引き続きあらゆる場を通じて国に改善を働きかけてまいります。

校現場での取り組み状況はどうか。

**市川市上空ルートの騒音
県、国に改善を働きかけ**

羽田空港着陸機

県では、河原地区において、
取付道路の用地 取得を進
めており、進捗率は、面積
ところです。
また、取付けとなる高谷

携し、地元関係者の協力を得ながら、事業の推進に努めてまいります。

残念。
県からも、このようないいことを含め、県民の声を国に確実に届けていただきたいたい

